

要望しています

～笠岡市の未来のために～

平成29年度
決算認定
要望事項



予算・決算において市に対し、議会から要望を付しています

9月定例会では、笠岡市の平成29年度一般会計等の決算の審査・認定を行いました。一般会計の決算認定で一部反対がありましたが、8つの要望を付けて認定することとなりました。要望を市がどう取扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。



防災力のさらなる強化を

市内の全地域において、自主防災組織での地区単位の防災マップの作成支援、地域防災のリーダーとなる防災士の資格取得支援などを行い、地域防災力のさらなる強化を図ること。

また、市の災害対策本部と地域の自主防災組織との情報共有や連絡調整が図れるように体制を整えること。

中央公民館、各地区の公民館、小学校など避難所となっている施設は、避難所運営がスムーズに行える機能を持つ施設となるよう、改修や整備を行うこと。



子どもが安心して過ごせる居場所を

子どもたちが、安心して過ごすことの出来る居場所をつくるという目標を達成するため、実施団体に現在の利用状況を聞くなど、実態を調査研究し、必要ならば予算の増額や制度の充実、あるいは見直しなどの措置をとること。



実情に即した農地対策を

平成28年4月「農業委員会等に関する法律」の改正があった。遊休農地、荒廃農地対策の強化について、よりいっそう現状把握に努め、実情に即した取り組みを行うこと。



道の駅のリピーター増加を

来場された方の「道の駅に関する声」を収集・分析等を行って、リピーターを増やすための施策や取り組みに努めること。



交通安全施設整備の点検を

カーブミラー等、交通安全施設の整備について、点検の際には、目的意識を持って目を配り、対応すること。



活動状況を踏まえたまちづくり交付金を

まちづくり交付金事業は事業を開始して5年が経過しており、現在のまちづくり事業の活動状況を踏まえ、有効な事業となるよう見直しを行うこと。



ルールに則ったふるさと納税の推進を

総務省からのふるさと納税に係る返礼品の送付等に関する技術的助言にもとづいて、ルールに則り適切に運用すること。



危険な空き家の除却推進を

空き家等除却の助成について周知を行うとともに、空き家対策特別措置法により、「危険排除という観点」から対策を推し進めること。